

# 野口議員 耕畜連携の実施年度は？

町長 むずかしい

〔野口〕 総合計画には、環境にやさしい減農薬、減化学肥料のエコ農業の推進、土作り対策として耕畜連携、さらに支援の必要性が記述されている。

早急に取り組む課題だが実施年度は。

〔町長〕 生産性や効率重視の観点から耕畜農家間双方の連携はむずかしい。畜産堆肥の供給量も少ないので、実施年度は言い切れない。



〔野口〕 サッカー協会の試算ではなく、なぜ町が試算しなかったのか。

〔町長〕 建設が決定した後の、指定管理の段階で精査する。

〔野口〕 サッカー場建設後の人工芝の更新も含め、町は維持管理費を独自の見込みで試算したか。

〔町長〕 サッカー協会に試算してもらい、提案している。

# 野口議員 サッカー場の試算は？

町長 協会の試算を提案



中山地区にある農産物処理加工施設

# 野口議員 農産加工所の補助金は必要か？

町長 自助努力も必要

〔野口〕 農産加工所の経営は、12月末で赤字のようである。今後、町の補助金など出すべきでないと考える。

〔町長〕 雇用創出関係の補助金を活用しながら運営体制を確立している。

その後は、補助金など受けることなく自助努力により、安定した施設運営をめざしたい。

# 野口議員 税金還付は迅速に

町長 早い還付に努める

〔野口〕 町県民税が8月に年金から過徴収され、1月に還付された。5カ月経つてからの還付は非常に遅い。迅速にできないか。

〔町長〕 10月中には処理すべき事務であったと思うている。申し訳のないことであり、今後は早期の還付に努めたい。

